

会費制の導入についてお願い

上智大学経鷲会 会長 伍堂光雄

平素は経鷲会の運営に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、皆様もご存じの通り、経鷲会では会報(エコノミアン)を発行し、会員約7,500人に発送すると同時に現役学生にも配付しております。これは、経鷲会の活動状況を会員や学生に伝えるとともに、会員相互の情報交換紙としても重要なものであり、これまでも会報内容の充実については十分な検討をかさねてきたところであります。

ところが、会報発行に伴う費用(印刷代、郵送代等)のうち、郵送代の値上がりもあり、費用の増大に相応した収入が不足しているのが現状であります。

役員会として、会報発行の都度未納会員に納入を呼びかけるなど対策を実施してまいりました。また、会報代の納入方法が判りづらいとのご意見もあります。これらの改善策を中心に、経鷲会の将来のあり方等

を総合的に検討してまいりました。

その結果、第7回総会時(平成7年10月10度)から会費制(2,000円/年・人)を導入することに、役員会としては決定いたしました。会費は会報代の他通常の活動強化のための費用にも充当致したく考えております。ご意見等がありましたら各卒業年次の役員迄お申し出下さい。

つきましては、来る11月18日(土)の総会におきまして、この会費制導入(「経鷲会会則第24条資金」の変更)の決議を行いたいので、会員の皆様のご賛同、ご協力をお願い申し上げます。

今後とも、経鷲会の活動強化のために私達役員は一層の努力を続ける所存でありますので、どうか皆様のご鞭撻、ご支援をお願い申し上げます。

参加費、賛助金等の振込は郵便局にて下記の口座にてお願いします。

記

1. 振込口座番号 00150-8-537559
2. 宛先 上智大学経鷲会

上智大学経鷲会第7回総会のお知らせ

今年も総会の季節が巡ってきました。第7回総会は下記のように行われます。今回は経鷲会の将来にとりまして大事な総会となります。会員皆様のご参加を強くお願い致します。

記

日時 平成7年11月18日(土曜日)

1. 代議員会 14:30~15:00 10号館講堂
2. 総会 15:15~15:45 10号館講堂
3. 懇親会 16:00~18:00 上智会館3階第一会議室
4. 懇親会参加費 3000円

なお懇親会には細川護熙夫妻の出席が予定されております。

『これからの日本はどうなる、どうする』等、生々しい緒点についてお聞きできるのではないのでしょうか。

代議員会開催のお知らせ

第7回総会に先立ちまして代議員会を下記のように開催致します。代議員の皆様は11月18日14:30までに10号館講堂へお集まりください。

従来ですとハガキでお知らせ致したのですが、経費節減の意味から今回は、この紙面でお知らせ致します。代議員の名簿を記載致しますので、各自ご確認の上必ずご出席ください。

記

1日時：平成7年11月18日(土)14:30～

15:00

2場所：上智大学 10号館 講堂

3議題：①会則変更(会費制導入に伴う変更)

②事業報告(6・10・1～7・9・30)

③決算報告(6・10・1～7・9・30)

④事業計画案(7・10・1～8・9・30)

⑤予算案 (7・10・1～8・9・30)

⑥役員選任 (7・10・1～9・9・30)

第7回総会を盛り上げるため、代議員の皆様より多数ご出席下さるようお呼掛け下さい。宜しく願い申し上げます。

上智大学経鷲会代議員名簿

(平成5年10月1日～平成7年9月30日迄)

平成5年11月6日現在

昭7 青山 高志	昭27 吉田 英夫、比田井行良、清末 昌宏、西島 孝一
昭10	昭28 小林 和夫、公文 正夫、石毛 保房、篠崎 達雄、高桑 一雄、村田 潤治、荒井 英夫、中馬 健晴
昭11 飯島 正迪、上田 亀之助	昭29 篠塚駿太郎、永山 茂樹、竹内 崇悟、北川 武、井原 昭三、高橋 秀臣、宮森 久治
昭12 福田 暁	昭30 赤羽 孝久、中島 貞夫、植竹 剛、赤木 泰昌、橋本 文雄、飯島 敬三、高橋 幸雄
昭13 高橋 隆一、山口 邦彦	昭31 矢崎 吉弥、和田 幹雄、別宮 道夫、佐々木 和、青木 和昭、安藤 元久、長田 薫、中川 真明
昭14 山田 孝昭	昭32 伍堂 光雄、古知 朝彦、新村 満、萩原 昌二、佐々木 登、小島 恒雄、渋谷 嘉孝、脇 弘
昭15 渡辺 慎介、森 久光	昭33 川野 克美、本多 義之、新倉 正行、佐藤 正典、佐原 祥資、石川 静夫、小菅 一三、由良 徹
昭16 神 秘、瓜生 巖	昭34 成川 善継、堀 樹太郎、三栖 学博、倉橋 久輝、土岐 友雄、星野 孝志、田中 弘文、近江 常人
昭17 福田 重夫、谷一 繁雄、猪俣 昌三	昭35 目谷 昌彦、諏訪部 栄亮、牛島 勇
昭18 小平 勉、井上 恵右	
昭19 北田 正武、中山 保郎	
昭20 植林 正典、行徳 徹彦	
昭21 今泉 栄市、西 徳見、宮田 慶英、長井 貞義、束原 秀夫	
昭22 新納 春男、村松 正、吉田 鐵男、伊藤 赳、森田 徳男、小松 弘、佐藤 幸男	
昭23 土橋 日出男、渡辺 泰、大井 功	
昭24 加藤 泰純、田村 庄次、岩波 正雄、渡辺潤二郎、高橋 亘、小池 信一	
昭25 田中 克、小川平八郎、飯田 孝、金子 守男、多田 昭爾	
昭26 毛利 博和、加藤 裕一、太田 宏、佐和橋 潜、藤山 俊彦	

- 土肥 義尚、小川 晋一、松山 広雄、
田中 立夫、浜口吉右衛門
- 昭36 三好 登、堀井 侃、田中 博、
山岸 正道、青木 宏達、小林 恵一、
椎橋 道彦、角田 錦哉
- 昭37 印南 進、榎戸 朗、上泉 正敏、
貝田 勇三、上土居欣一、西村 卓也、
田島 勝彦
- 昭38 戸川 宏一、金 肇、大滝 史博、
遠藤 千朗、藤井 統司、東郷 武、
金子 征一、松下 裕恵
- 昭39 石川 洌、鋤柄 恵一、阿部 弘、
相原 健司、牧野 光芳、竹内 靖博、
鈴木 栄、川越 一郎
- 昭40 池田 賢吾、加藤 晃洋、杉本 寛、
滝 一郎、中村 文雄、松本 泰輔、
山本 秀一、丸茂 章
- 昭41 松野 秀朗、木村 清之、諏訪部孝道、
馬淵 義彦、尾原 重男、榑原 克世、
鈴木 慎一、加藤 容正
- 昭42 秋葉 哲、中目囿南雄、大河 原毅、
濱口 敏行、河辺 尚之、都築 誠、
松下 隆一、野地 真文
- 昭43 毛利 三郎、塚本 次男、星島 明光、
浅野 勉、久保田一輝、齊藤斗志二、
秋元 征紘、衛藤 幹郎
- 昭44 雨宮 良平、宇和島友文、見越 正明、
鈴木 勝利、小山 光夫、小松 史郎、
八木 夏彦、板倉 喬
- 昭45 田中 正美、江尻 実、奥洞 靖彦、
中村 祐輔、平野 隆、井上 保彦、
谷田貝三夫、大関 秀夫
- 昭46 樋口 憲雄、三木 眞弘、秋山 良治、
木村 茂、鎌田 伸一、嶋田美佐子、
木村 英夫、三大寺義尹
- 昭47 森田 正昭、古賀 隆一、高橋 啓二、
野口 直樹、岩崎 芳秋、腰越 慎一、
田中 彰、坂本 清春
- 昭48 相澤 勉、林 幸一、大輝 康夫、
広山 貞夫、佐藤 賢治、小林 順治、
飯島 誠、大塚 誠
- 昭49 八木 達郎、秋元 良一、牛山 亮、
鏡 勉、木村 正文、重岡 啓司
- 昭50 服部 誠、松田 茂、岡安 道雄、
岩附 烈、田中 義文、高木 貞一、
山本 晃義
- 昭51 上原 隆一、吉田 隆、古川 二郎、
浅田 将之、泉谷 洋、星野 清、
渡辺 譲、吉田 潤
- 昭52 能田 宗建、中村 裕史、野上 満正、
田村 隆、服部 悦郎、秋山 吉正
- 昭53 三輪 一夫、大武 宏至、鈴木 恵子、
松本正一郎、宮内 浩之、川崎 晴夫、
北郷久美子、森 則明
- 昭54 西島 敏夫、澤田 保男、鈴木秀一郎、
前川 満彦、大山 茂樹、阿部 洋悦、
齊藤 徳幸、渡辺 弘明
- 昭55 権田 哲也、一色 英之、渡辺 信一、
細井 康司、中森 伸一、岡田 芳明、
松林 聡、手島 知一
- 昭56 石井 直美、今村 真二、菅宮 徳也、
梅内 伸幸、赤井栄一郎、木下太一郎
- 昭57 近藤久二子、渡辺 公子、小林 毅、
継国伊左男、山本 幸男、大倉 章、
浅野 浩一
- 昭58 北川 潤、岩下 欣司、波江野裕子、
安永 睦夫、小野 隆之、清水 弘之、
鈴木 栄子、山崎 俊一
- 昭59 竹内 利江、尾高 雅宣、矢部 英貴、
永田 宏之、柴田 信雄、渡辺 智大、
津川 光子、渡辺 英孝
- 昭60 新美 孝、矢崎 繁、唐神 英夫、
興石 克己、太田 裕之、宮森 秀一
- 昭61 高橋 辰彦、矢野 嘉行、大塚 宏之、
田島 裕、沢田 毅、飛田 勤
- 昭62 福田 圭一、渡辺 一彦、明石 学、
森川 直樹、秋山哲一郎、本橋 茂
- 昭63 齊藤 彰浩、小山 健治、中野 雅之、
左納 裕子、中沢 英雄、沖 聡
- 平1 藤野 美紀、奥沢 尚樹、奥本 泰之、
小谷 靖、白井 貴子、奥山 敏行、
青木 健治、鷹取 朗
- 平2 和泉 祐介、林 栄介、小崎 健治、
豊田 裕、高島 眞一、軍司 聡美、
山田 聡

※P.6につづく

第5回オールソフィアズゴルフ大会を振り返って

実行委員長 秋葉 哲 (42年 経・経卒)

今年の夏も昨年以上の厳しい暑さが続きました。実行委員会では、第5回の節目にあたり、早めから参加募集のご連絡を致しました。7月初めまでに140名近くの参加申し込みがありました。また経済学部OBを中心に大会のご協賛も快くお引き受けいただき多くの素晴らしい賞品が贈られ、順調に準備を整えられました。ところが連日の猛暑の中参加辞退が続出し、100名弱のこじんまりとした大会になってしまいました。

暑さにも拘わらずご参加の皆様の成績は抜群のものがありません。男性の部ではアンダーパーが8名(ネットスコア)、32位までの間のスコア差は僅かに5.4打差という激戦でした。しかも優勝者から4位までは体育会ゴルフ部OBは食い込めない結果となりました。5年の間OBの皆様のレベルアップに本大会がいささかでも寄与できたのかな、との喜びを感じてよろしいのでしょうか？

一方今年は女性の参加者は3名に留まり、さびしいものがありました。その中で参加されましたレディスの皆様にも深く感謝致します。

例年通り今大会もチャリティーバザー、ショートホール1オンミスの罰等による募金活動をさせていただきました。パーティ

で伍堂経鶯会会長から説明し、ご賛同をいただきましたように、寄せられました15万円は全額ソフィア会を経由して、上智大学80周年記念事業へ寄付することになりました。大学ではこの事業推進のためにOB各位の奮っての応援を求めています。ご参加の皆様の暖かいご支援により、少しでも寄与出来ることを皆様と共に喜びたいと存じます。

5年前に始めましたゴルフ大会に参加された皆様は、久しぶりの仲間同士の集いの楽しさを思いだし、それがきっかけとなり各々のグループでゴルフ大会を催していると聞いております。その分本大会へのご参加が減少するということになり始めているようです。ゴルフ費用が低下している中、本大会が割高になっていると思われまます。実行委員会では今後ともこれまでのように準備費用を切り詰めて参ります。状態の良いコースでゆったりとプレー出来ることは勿論です。プレー後の懇親パーティを工夫し、皆様の交流が盛んになるように致します。パーティも良い雰囲気で行いたく存じます。その分プライベートコンペより多少割高になりますが、何卒ご理解いただき多数のソフィアンのご参加をお願い致します。



「特別講義」の講師募集について

すでにご案内のとおり、経済学部では平成5年度より「特別講義」の授業において、すでに産業界でご活躍されている先輩に講師をお願いして、産業界の実態や今後の発展の方向などを、第1線での貴重なご経験にもとづいた視点をおとして、学生達にお話いただいております。先生方の講義とは

一味違った生々しいお話は大変好評であります。

今後とも長く継続させていき、先輩方と現役学生の貴重な接点になれば幸いと願っています。皆様には是非ともこの講師役を引受けていただきたいと存じますので、ご希望される方、経済学部事務室か経鷲会役員までご連絡下さるようお願いしております。

講座概要

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 1. 講座名 | 「特別講義」(産業発展論) |
| 2. 時期 | 前期(4月~9月)または後期(10月~1月) |
| 3. 回数 | 各期とも13週、毎週1回90分
講義時限は任意に選択できます |

これまでの講師と内容

平成5年度前期	大河原毅(昭和42年経経卒) フードサービス産業の発展
同 後期	川野克美(昭和33年経経卒) 激動期の経済と銀行の役割
平成6年度前期	大河原毅(昭和42年経経卒) フードビジネスの成長と今後の展開
同 後期	尾原重男(昭和41年経経卒) 三木眞弘(昭和46年経経卒) 産業技術、国際競争力の変化と産業の盛衰 半導体ビジネスの戦略的マーケティング
平成7年度前期	川野克美(昭和33年経経卒) バブル経済における銀行行動の軌跡と一つの帰結
同 後期	藤田猛彦(昭和40年経商卒) 保険の現代的意義と戦略的役割
平成8年度前期	北出高一郎(昭和46年経経卒)
同 後期	(現在交渉中)

※代議員名簿のつづき

平3 荒井 典子、中沢 優樹、伊地知大行、 坂本 義人、塚原 和幸、池田晋一郎、 坂下 努	渡辺 誠、安永 和弘、一本松朝子 平5 石毛 洋子、太田 進、刀禰かおり 平6 井上 亘、畠山 嘉博、藤井 裕久、 深川 敦子
平4 田中 祐爾、下川 末美、宮沢 正己、	

編集後記

*エコノミアン11号は御覧のように総会のご案内に終始した格好になった。会員諸兄姉に一人でも多くご参加をと、強く願う結果と受け取っていただきたい。経鷺会の方向づけと運営に多くの方々の知恵と参加が求められています。11月18日(土)はしっかりとスケジュールに記入して下さい。

*会員制度の導入には、役員会でこの3年間議論を尽くしました。最も素朴な疑問は、会員制度を導入した場合、会費を納めなければ会員ではないのかという点です。実はこの点は結論が出ていないのです。しっかりと結論を出すまで、もう待てない財政状態になっているのが実情です。尻に火の付いたとはこのことでしょう。

*「会の活動を活発にするには」というテーマは毎月開かれる役員会の、重要課題です。大方の到達点は、昭和50年代、60年代そして平成の若い会員に関心を持ってもらい参加をしてもらうことだ、そうだ！そうだ！ということになる。それでは何をすれば良いのだ、まず若い会員諸氏に意見を聞こう、その意見を聞くべき若い会員をどう集めるか、こんなこはを幾ら繰り返しても堂々巡りというものだ、ああ、知恵が欲しい。若い諸君よ！もうロートルに任せず、君等が舵取りに出てこないか。やりようによっては結構面白く出来ると思うよ。

*先日デンマークのホルベック市にある『エリザベート・センター』を訪れる機会があった。ここは高齢者が快適に生活できる福祉町といったところ。日本で考える老人ホームだとかリハビリ・センターのスケールではとうてい想像ができない施設群だ。高齢者の人口比率が高くなったときの人間集落はかくあるべきという、世界のお手本になっている。この集落の施設も凄いが、生まれ出る過程がもっと凄い。一般市民が30ぐらいのグループに分かれ、参加市民が、人間とはという最もベーシックな問題から入り、自分が高齢者になったときどんな環境が望ましいかを半年間に渡り討論を重ね、それを各グループがもちよりさらに絞り込む。何とその間、専門家といわれる人々、医師・建築家・学者さらに市の財政関係者等のいわば専門家といわれる知識のプレーキが一切介在しなかったことである。市民の造り上げたアイデアを実現する段に入ってから専門家集団が活動し始めたのだ。

長々と述べたが、私たちの経鷺会の将来計画を作り上げるとき、こんな方式がトレースできないものかと夢を描いた次第です。

*経鷺会の誇れる活動の一つに、『特別講義』がある。この活動に2期も勤めた川野克美氏(当会副会長、昭和42年経経卒)が学生に単位習得に論文提出を課したところ、その提出方法に現代学生気質をまざまざと見ることができたと話してくれた。面白い、面白い、どんなに面白いか、総会の懇親会で直接聞いてもらいたい。とくに人事担当の方には、他では得難い収穫となること請け合い。